TIFFスタ MONTHLY CHECK! (2021年1月)

公開日	作品名·特集名	TIFFスタ コメント
1月1日(金)	新感染半島 ファイナル・ステージ	第33回(2020)東京国際映画祭 特別招待部門
	Swallow スワロウ	業務上、この作品のことはずっと知っていましたが、色々痛そうでいまだ勇気がない・・・ (K)
	燃えよデブゴン/TOKYO MISSION	ドニー・イェン×谷垣健治でデブゴン…某雑誌の谷垣監督の連載でかなり前から存在は知っていましたがやっと観れる!正月爆上げしたいです!!(KM)
1月2日(土)	陶王子 二万年の旅	陶磁器についてよく知らない自分にも面白かった! メソポタミアや黄河文明、古代エジプトなどの 器の作り方の再現がワクワクするし、壮大な時の流れも感じられる演出でした。(A)
1月8日(金)	チャンシルさんには福が多いね	配給会社さんの思い入れも伝わる宣伝で、予告を見ても女子の心をつかみそうな作品。期待ばかり が募る1本(K)
	ハッピー・バースデー 家族のいる 時間	セドリック・カーン監督はマスト!フランスの木漏れ日溢れる中庭で食事しているシーンだけで胸 いっぱい (K)
	くるレコートンヤケット	達人の手仕事は観ていて楽しい。配信の時代になっても、やっぱりジャケット付きのCDを買いたい派です。 (Y)
	ね ゼスレーローたた	キル・ビル、チャーリーズ・エンジェル、マッドマックス…アクション映画好きとしてはかなり楽しみなドキュメンタリー。強い女性…良いと思います。(KM) NOスタントマンNOムービー!(M)
	ヒッチャー	この映画のヒッチハイカー、もしくは「ブレードランナー」のロイ・バティに憧れて育ちました (どっちにしてもルトガー・ハウアー)。コラボTシャツも特典付き前売券も購入済みで35年ぶりの スクリーンでの再会に準備万端です!(A)
1月15日(金)	聖なる犯罪者	なんだかあらすじ以上に不穏な予告が気になりました。(KM) 良い意味で予想を裏切られる、静かながら心に残る大人の寓話。(M)
	ザ・スイッチ	あくまで個人的な説ですが、ブラムハウスの映画はポップコーンとの相性がすこぶる良いと思うのです。(KM) 好きな男の子の前でドギマギする196cmのヴィンス・ヴォーン(中身は女子高生)が観られるそうなので(S) 一昨年のマイベストが「ハッピー・デス・デイ」だったのでクリストファー・ランドン監督の新作である本作はずっと楽しみにしていました!(A)
	恋する遊園地	無生物(遊園地の機械)と恋愛をするという設定がいいじゃないですか。予告編の映像もキレイでした。そして、どのあたりがR15指定なのか気になります…。(A)
1月16日(土)	ジャスト6.5 闘いの証	第32回(2019)東京国際映画祭 コンペティション部門<監督賞・男優賞受賞>
1月22日(金)	いつか、どこかで	リムさん観ます! (K) 去年のTIFFでは『カム・アンド・ゴー』でお世話になりました! (Y) バルカン三部作の1つ、楽しみにしています。(M)
	羊飼いと風船	ペマ・ツェテン監督は見なくてはならない。タルロが好きでした(K)
	シン・エヴァンゲリオン劇場版	エヴァシリーズの完結編。これはマストで見届けないと。 (Y) 本当に完結するのでしょうか? (S)
	どん底作家の人生に幸あれ!	文豪ディケンズの代表作ともいえる小説「デイヴィッド・コパフィールド」の映画化。こんなご時世だからこそ、困難をポジティブに乗り越えていく男の人生から学べるものがあるかも? (Y) 現代的主題を込めた古典の映像化として高評価を得ているのと、デヴ・パテルのペーソス溢れる演技が素晴らしいそうなので楽しみです。(A)
	KCIA 南山の部長たち	韓国の大統領直属の諜報機関の部長による大統領暗殺という衝撃の実話の映画化。 予告から伝わるただならぬ緊張感。一味違う、イ・ビョンホンの迫力。これは観たい。(Y)
1月29日(金)	わたしの叔父さん	第32回(2019)東京国際映画祭 コンペティション部門<東京グランプリ作品>
	ウェイティング・バーバリアンズ 帝国の黄昏	R・パティンソンなんで、皆様もマストでお願いします(K)
	天国にちがいない	必見にちがいない。(A)
	花束みたいな恋をした	予告編大会を見たら…あまりにエモーショナルで…。(M) 近年の坂元裕二脚本ドラマはとにかく凄い作品ばかりなので、これも心待ちにしています。(A)
1月30日(土)	写真の女	「SKIPシティ 国際Dシネマ映画祭2020」 受賞作品 (第33回東京国際映画祭にて上映)
		もはや冬の定番ですよね。界隈で話題だった高校演劇「フートボールの時間」の上映も! 2/5まで(F)